

## 平成26年度第5回流山市産業振興審議会会議録

- 1 日 時： 平成27年3月18日(水) 14時00分～16時00分
- 2 場 所： 流山市役所第2庁舎303会議室
- 3 出席委員： 古坂稔会長、土屋薫副会長、洞下英人委員、池森政治委員、山崎日出男委員、秋元篤司委員、坂巻儀一委員、菅野洋介委員、藤本隆委員、片岡晃一委員、佐藤元子委員、伊藤基委員
- 4 欠席委員： 高橋啓二委員、山田伸委員
- 5 事務局： 福留産業振興部長、金子産業振興部次長、山崎農政課長、精木商工課長補佐、柳商工係長、稲村事務員
- 6 議 題： 1. 農商工連携の推進及び商店街活性化についての答申（案）について  
2. その他

### 7 議事録

#### 【事務局より挨拶】

#### 【古坂会長より挨拶 開会宣言 次第について説明】

#### 【事務局より議題（1）について説明、及び答申案を読み上げ】

古坂会長：ただいま答申案について事務局から説明があった。なおこの答申案については、すでに皆様に送付したものについて、ご意見を頂戴し、反映したもののだが、最終段階なので、皆様からご意見を伺いたい。

秋元委員：期限までにコメントが出来なかった。趣旨は変わらないが用語の点で、この場で指摘したい。1ページや5ページで「後継者不在」という言葉が出てくる。個々の農家に着目すると、この言葉で間違いはないが、流山地域全体として見た場合には「後継者不足」の方がすっきりするのではないか。

2点目は、5ページの農商工連携の推進の冒頭で、ここだけ「農政課では」という、部局名が唐突に出てくる。「市では」が良いのではないか。

古坂会長：ただいまのご意見については、私もそう思うが、皆様としてはどうか。

福留部長：いずれもご指摘ごもつともである。なぜ「不足」ではなく「不在」

という言葉にしたかということ、市長の考え方として、後継者はいるが、家業を継がずに就職をしたりしている場面があったりするので、「後継者不足」という表現はいかがなものか、という考えがあり、事務局としては考えたうえで、この表現にさせて頂いた。この点も踏まえてご審議のうえ決めて頂きたい。

秋元委員：繰り返しになるが、個々の農家では「不在」が良い。流山市として地域全体で見た場合には、「不在」と言ってしまって良いのか。やはりここは「不足」だと思う。

片岡委員：私もそう思う。

古坂会長：それでは、「後継者不在」ではなく「後継者不足」とし、「農政課」ではなく「市」とする。

土屋副会長：5ページの農商工連携の推進の3行目「共同」については「協働」という言葉を当てはめられると思うが、皆様のご意見はどうか。

福留部長：昔はこの「共同」という言葉を使っていた。20年ほど前、市民参加が現在ほど盛んでない時代に、市民と行政がともに働くということを提唱された先生がいて、「協働」は近年盛んに使用されていると認識している。

土屋先生のご指摘のとおり、ここでは「協働」の方が相応しいと思う。

古坂会長：それではここは「協働」とする。

秋元委員：6ページ 直売所のあり方の下から6行目「売上額の少なさが顕著に出ている」という部分が、奥歯にももの挟まったような言い方に感じる。

要するに「伸び悩んでいる」という事を書きたいのだと思うが、もう少しストレートに書いた方が良いのではないかと思う。

福留部長：この部分は、後述する「売場面積」の部分につなげる意味で書いた部分であり、ある程度売り場面積があれば、種類も増やすことができ、売上も伸びていくのではないかという趣旨の表現である。おっしゃる通り、実態として売上額は頭打ちになっている。

古坂会長：「売上の伸び悩みが顕著に見られる」という表現に変更する。

意見が出尽くしたので、本日決定した修正点をまとめる。

- 1 ページ 後継者不在 → 後継者不足 に変更（5 ページも同様）
- 2 ページ 事業計画の抜本的な見直し を2か所に挿入
- 3 ページ 平成25年度 の「25」を全角表記に変更
- 5 ページ 農政課 → 市 に変更  
共同 → 協働 に変更  
「お互いに」を削除
- 6 ページ 売上額の少なさが顕著に出ている → 売上の伸び悩みが顕著に見られる に変更

古坂会長：原案がまとまった。今後は、細かい部分の修正について不都合が生じた場合には、皆様にお集まり頂くのではなく、私と事務局の方で調整するというで一任頂く。今後のスケジュール等、事務局から説明頂きたい。

金子次長：平成25年度から続いて、今年度は5回、多くの意見を頂いて、最終答申案がまとまった。こちらを仕上げて、4月上旬には市長に答申を提出させて頂く予定である。

古坂会長：皆様のご協力をもって、お陰様で答申案をまとめることができた。心よりお礼申し上げたい。ありがとうございました。

福留部長：事務局としても平成25年の9月20日に市長の諮問を受け、皆様のご協力を得て、2回に分けての答申として、まとめて頂いた。長い間ありがとうございました。事務局としても、答申を施策に反映できるように、努力して参りたい。

**【ここで、事務局より平成27年度の主な新規事業について説明】**

古坂会長：では以上をもって審議会を終了する。ありがとうございました。